








事例No.19			
事業名		ため池等整備事業（大規模） 八塩地区	事例キーワード 景観保全、親水空間、 ため池の多面的利用
事業担当機関		由利地域振興局 農林部 農村整備課	
事業期間		平成7年～平成12年	
実施場所		由利郡東由利町田代	
事業概要	全体事業費	784百万円	
	工事概要	取水施設・洪水吐 1式、堤体法面保護 138m、親水護岸 106m	
	事業の目的	八塩ため池は725haを潤す農業用水利施設であるが、築造後30年以上を経過し、管理施設の老朽・劣化による構造破壊が著しく進行しており決壊による災害の未然防止を図るうえで緊急に改修する必要があった。 一方、池周辺には、青少年交流施設やキャンプ場などが整備され、レクリエーションゾーンとなっており、春の「黄桜まつり」をはじめ「八塩紅葉まつり」等、多彩なイベントが開催され多くの人が訪れる地域の観光スポットとなっている。 このため、施設の改修にあたっては、豊かな自然との調和に配慮するとともに、施設の整備保全と一体的に快適な親水空間などの多面的機能が発揮されるよう、施設整備を実施したものである。	
環境配慮の内容	「地域資源としてため池保全を図り、多面的有効利用を推進した事例」 1. 水位変動や風浪等による堤体法面の浸食防止対策として、ため池周辺の自然景観に配慮し、石張工による法面保護工を採用した。 2. ため池内等への転落事故を防止するため、安全性はもとより周辺環境と調和した色彩・素材の防護柵を選定し設置した。 3. 洪水吐の側壁は、自然石組模様の化粧型枠を用い、水・緑と調和する柔らかい壁面とした。 4. ため池周辺の浸食による崩落の著しい区間に、自然石による親水護岸を設け池敷斜面の保全対策を図った。また、一部区間を階段式とし水辺に近づける構造とした。 5. 施設の整備にあたっては、ため池管理者の土地改良区や「いいいの森」を管理する町と整備水準等について打ち合わせ、景観保全や親水空間の創出に努めた。		
状況工後の	1. 改修後のため池は、土地改良区の適切な維持管理により安定した農業用水を供給しているとともに、地域住民から「ぬくもりのある水辺空間が形成された」との声も寄せられている。 2. ため池周辺には、オートキャンプ場やパークゴルフ場等も整備され、手軽なアウトドアスポットとして町内外から多くの人が訪れる町の観光拠点となっている。		
図面、写真、説明			
<div><div><p>着工前 池周辺法面崩落</p></div><div><p>着工前 老朽化した洪水吐</p></div></div>			
<div><div><p>完成 親水護岸工</p></div><div><p>完成 堤体法面保護工</p></div><div><p>完成 春の美しい水面</p></div></div>			
<div><div><p>完成 洪水吐</p></div><div><p>八塩いいいの森 案内板</p></div></div>			